

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつで
も見られるところに必ず保管してください。



CDX-S2000S
CDX-S2000



安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 安全な場所に車を止める
- 電源を切る
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

△警告・△注意	4
CDについて	7
はじめに	9
まず、本機をリセットする	10
CD・ラジオの聞きかた	12
各部のなまえ	14
カードリモコン(別売り)の操作	16
時計を合わせる	17

CD

CDを聞く	18
繰り返し聞く (リピート再生)	19
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	20

ラジオ

放送局を自動で登録する	21
放送局を手動で登録する	23

サウンドの設定

イコライザーを使う(EQ3)	24
音のバランスを設定する (バランス)(フェーダー) (ATT)	26

その他の操作

音や表示などの設定を換える	27
---------------------	----

使用上のご注意	28
故障かな?	30
保証書とアフターサービス	33
主な仕様	34
索引	35



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの原因
となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り
付けと接続」の説明に従って、正しく取り
付けてください。正しい取り付けをしない
と、火災や感電の原因となります。



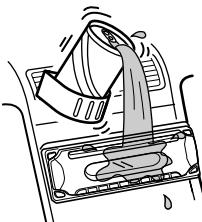
指示



内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を超えるヒュ
ーズを使うと、火災の原因となります。



指示

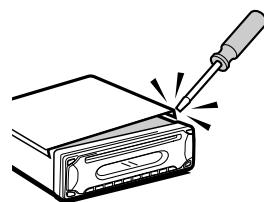
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



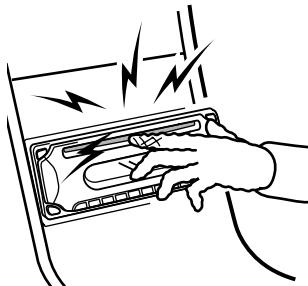
分解禁止



⚠ 注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはされ、けがの原因となることがあります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警告

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- ・電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ・乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- ・火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- ・電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ・ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池は充電しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- ・皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

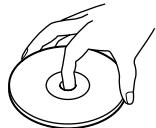
⚠ 注意

- ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたたり、変形させない。
- ・直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- ・電池を水などで濡らさない。

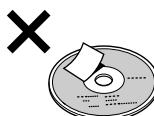
CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ

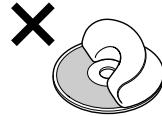
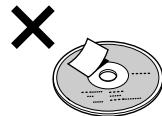
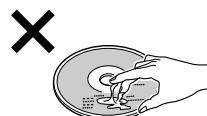


ディスクに紙などを
貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
- またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



- ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmCDについて

本機では、8cmCDの再生はできません。

8cmCDアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

[次のページへつづく](#)

CDについて(つづき)

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉

めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることができますので、使用しないでください。



CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスク*を再生することができます。ただし、録音に使用したCD-R/RWレコーダーやCD-R/RWディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

* 音楽用CD-R/RWディスクには下記のマークが印刷されています。



* 下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-R/RWではありません。



はじめに

- ・本機はCDとラジオに対応。
- ・好みの音質に調整可能な3バンドイコライザー（EQ3）機能搭載。

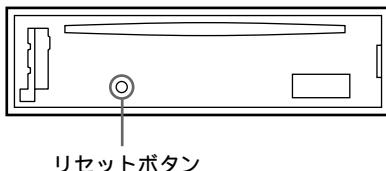
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンの操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



ご注意

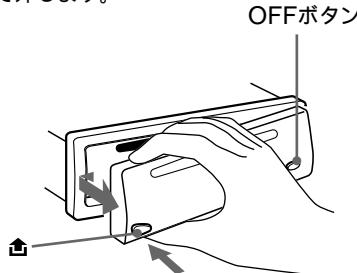
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDを入れないでください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示たくない場合は、「DEMO」(デモモード)を「OFF」にしてください。(27ページ)

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、を押してフロントパネルの左側から取り外します。図のようにフロントパネルを手で支えながら左に少しがらさせ、手前に引いて外します。

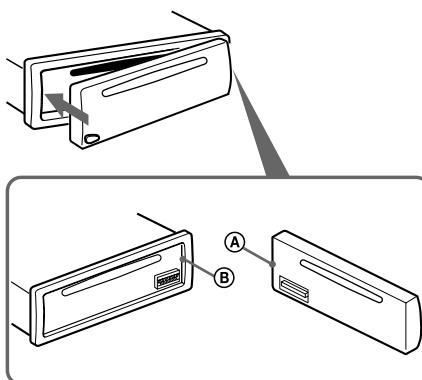


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

取り付けかた

フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせます。フロントパネルの左側も合わせてカチッとはまるまで押します。

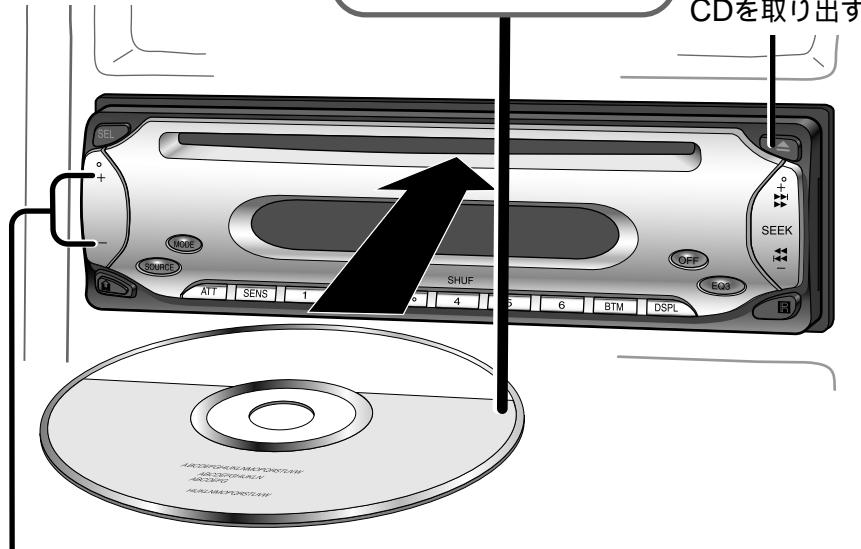


CD・ラジオの聞きかた

CDを聞く

1 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。



音量を調節する

本機は8cmCDの再生はできません。
8cmCDアダプターも故障の原因になります
で使用しないでください。

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「CD」表示にする
と再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

止める / 電源を切るには
OFFボタンを押します。

聞きたいところを探す(手動サーチ)
SEEKボタンを押し続け、聞きたいところで
離します。



曲の頭出しをする
(自動選曲センサー(AMS))
SEEKボタンをとばしたい曲の数だけ短く
押します。

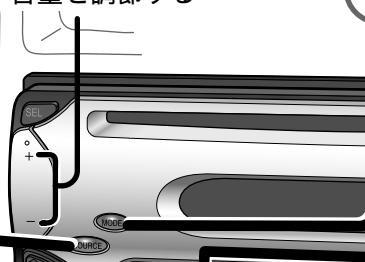


ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

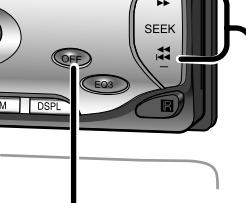
SOURCEボタンを押す。

音量を調節する



2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。



3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。くわしくは21~23ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)

SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

次の放送局
を探す



前の放送局
を探す

希望の放送局を受信する

(手動選局)

SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

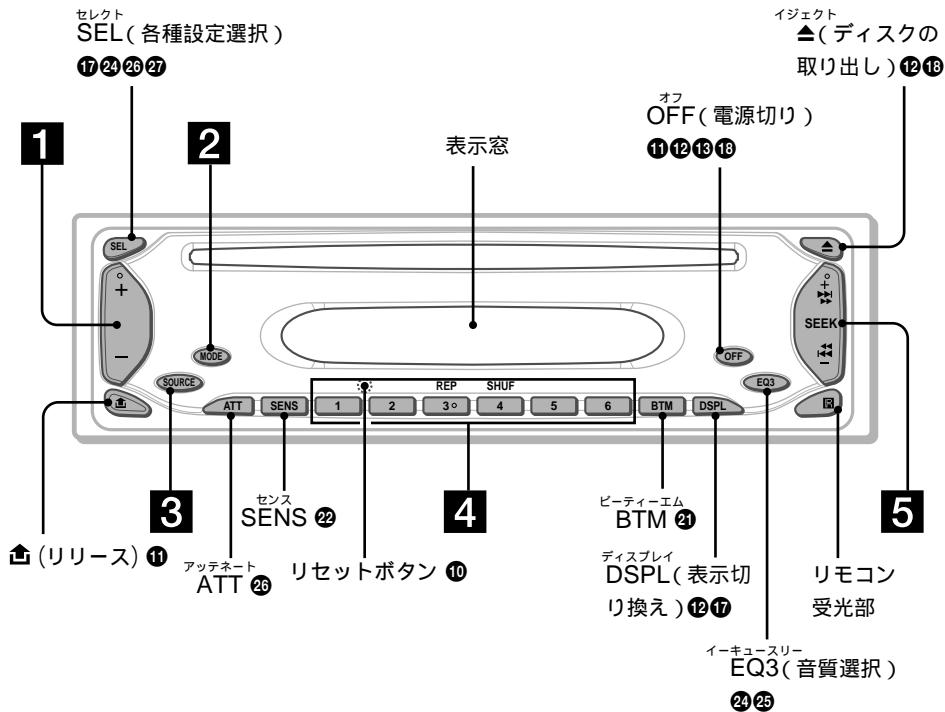
高い周波数の
放送局を探す



低い周波数の
放送局を探す

各部のなまえ

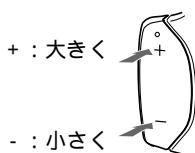
くわしい説明は●内のページをご覧ください。



ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

1 ボリューム(音量調節)ボタン

⑫⑬⑯⑰⑲⑳

**2** MODE モード

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り換え ⑯⑰⑲

3 SOURCE(ラジオ/CD切り換え)

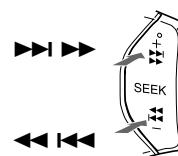
⑬⑯⑰⑲

4 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択
⑯⑰⑲

CD 3: リピート
REPボタン ⑯
4: シャッフル
SHUFボタン ⑳

各種設定 設定の変更 ⑰

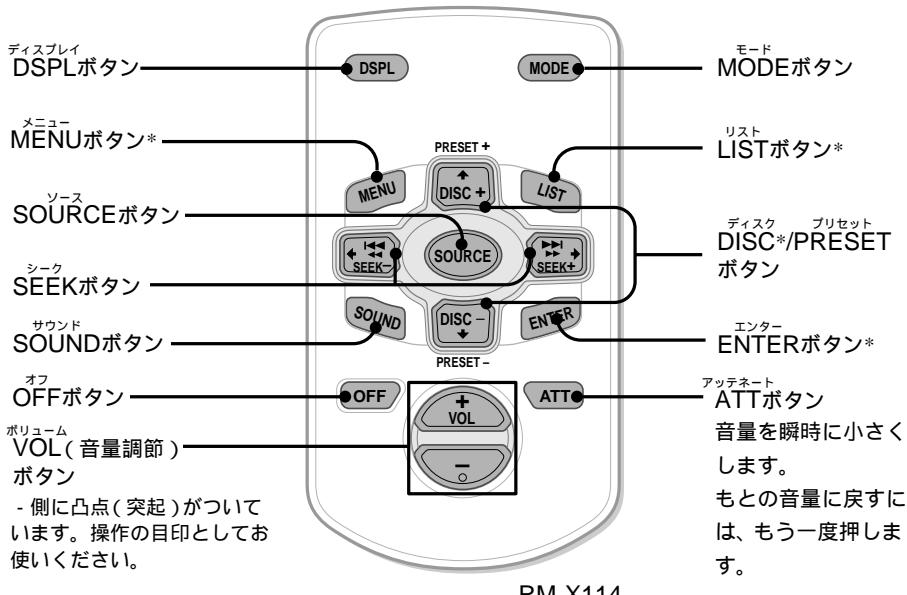
5 SEEK(頭出し/ラジオ選局)

ラジオ 周波数の高い放送局へ(押し続ける)
⑯⑰⑲ 周波数の低い放送局へ(押し続ける)
⑬⑯⑰⑲ ⑬⑯⑰⑲

CD 次の曲へ
早送り(押し続ける)⑬⑯ 前の曲へ
早戻し(押し続ける)⑬⑯ ⑬⑯

カードリモコン(別売り)の操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。



ご注意

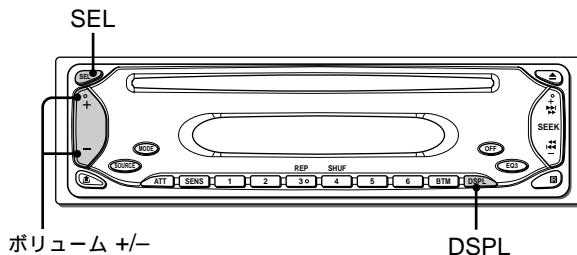
本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し
続けて表示を消してある場合は、カードリモコン
で本機を操作できません。操作できるようにする
ためには、一度本体でラジオを受信するなどの操
作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「電池の
入れ方」(29ページ)をご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

ACCポジションのない車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

カードリモコン(別売り)の操作 / 時計を合わせる

1 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。

SET

「時」が点滅します。

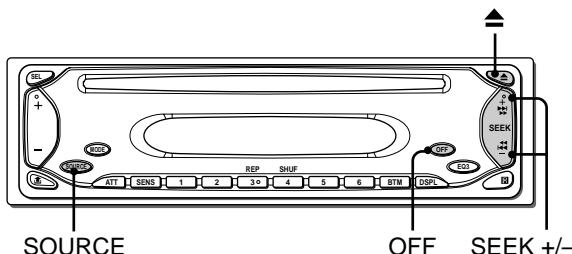
- ① ボリュームボタンの+または-を繰り返し押して「時」を合わせる。
- ② SELボタンを押す。
- ③ ボリュームボタンの+または-を繰り返し押して「分」を合わせる。

2 DSPLボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

CDを聞く

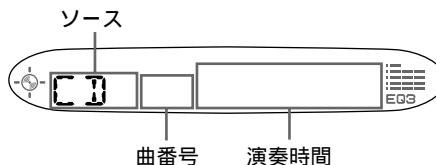
本機でCDを再生できます。



ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。

SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」を選ぶ。



再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、▲またはOFFボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEKボタンの+または-を短く押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

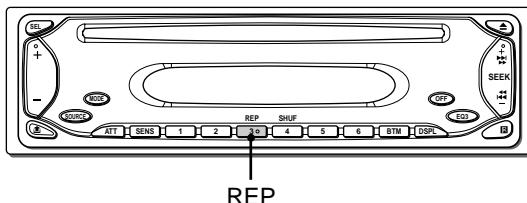
ディスクの先頭または終わりに来ると

「。。。」または「。。。」が表示され、それ以上前、または先に進めることはできません。

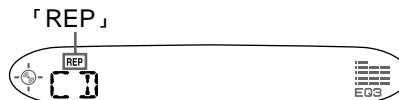
繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。



再生中にREPボタンを押して、「REP」を点灯させる。



CD

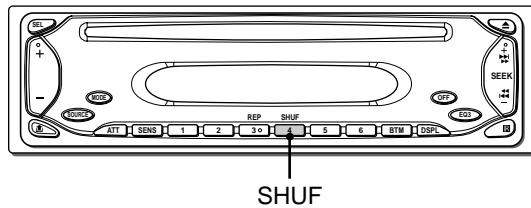
リピート再生が始まります。

リピート再生をやめるには
REPボタンを押して「REP」を消灯させます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の、全曲順を
変えて聞くことができます。



再生中にSHUFボタンを押して、「SHUF」を点灯さ
せる。



シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには
SHUFボタンを押して「SHUF」を消灯させます。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。

「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに

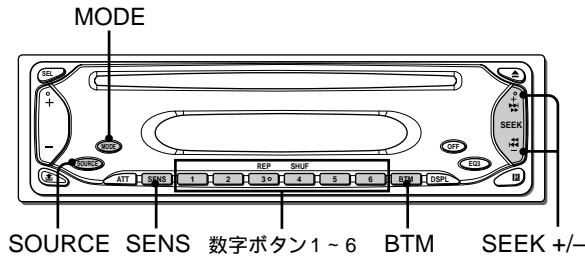
FM1 → FM2 → AM1 →

AM2 → FM1

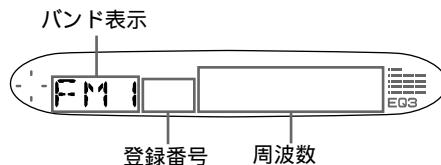
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。



1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。



2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 BTMボタンを2秒以上押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の画面に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押して、聞きたい放送局を選ぶ。

[次のページへつづく](#)

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

- SEEKボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「L.SEEK」と表示されます。

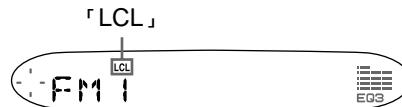
旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEKボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

ラジオ受信中にSENSボタンを繰り返し押して、「LCL」を点灯させます。



ふつうの受信に戻すには

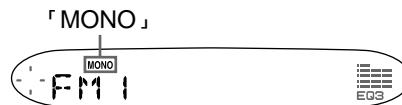
FM : SENSボタンを2回押します。

AM : SENSボタンを押して、「LCL」を消灯させます。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

FM受信中にSENSボタンを繰り返し押して、「MONO」を点灯させます。

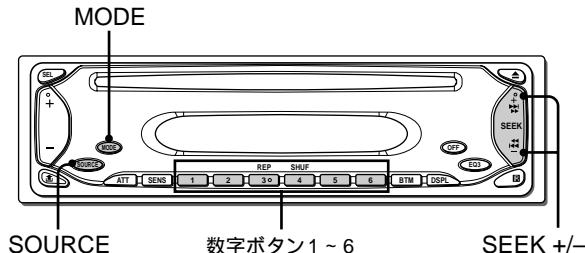


ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを繰り返し押して、「MONO」を消灯させます。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えます。

ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。
- SEEKボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

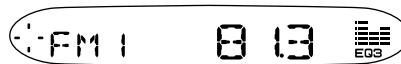
ラジオ

1 SOURCEボタンを繰り返し押して、ラジオ受信にする。

2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 **A** 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、SEEKボタンの+または-を押し続ける。

B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
SEEKボタンの+または-を押して離す。
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押し続ける。



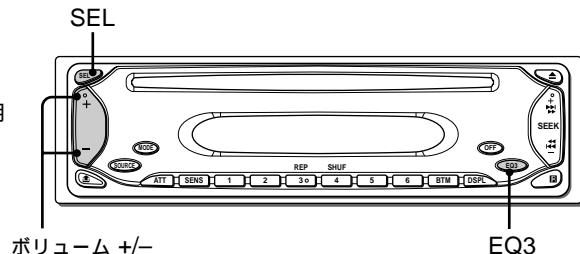
押した数字ボタン番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

イコライザーを使う(EQ3)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

ちょっと一言

イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。



イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(CDまたはラジオ)を再生/受信する。
- 2 EQ3ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに

→ XPLOD → VOCAL → CLUB → JAZZ →
 ← OFF ← CUST ← ROCK ← N-AGE ←
 と切り換わります。



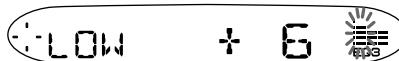
イコライザーを解除するには
手順2で「OFF」を選びます。

好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定するソース(CDまたはラジオ)を再生 / 受信する。
- 2 EQ3ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。
- 3 イコライザーカーブを調節する。

① SELボタンを繰り返し押して、音域を選ぶ。
押すごとに
LOW→MID→HI→(BAL→FAD)
と切り換わります。

② ボリュームボタンの+または-を押して、レベルを調節する。



③ 手順①と②を繰り返して、イコライザーカーブを調節する。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには
設定の手順①または②でSELボタンを2秒以上押し続けます。

ご注意

EQ3 OFFでは、イコライザーカーブの調節はできません。

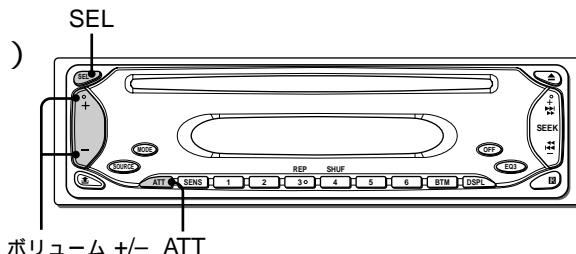
ちょっと一言

- 3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- レベルの調節可能範囲は±10dBです。

音のバランス を設定する

(バランス)(フェーダー)
(ATT)

スピーカー出力のバランスを調節
することができます。



ちょっと一言

- SELボタンを押すごとに
LOW* → MID* → HI* →
BAL → FAD
と切り換わります。
* EQ3 OFFでは表示され
ません。
- 3秒以上操作をしないと、
通常の画面に戻ります。

出力バランスを調節する

- 1 SELボタンを繰り返し押して、「BAL」または、「FAD」にする。

バランス(BAL)の設定表示



BAL：左右のスピーカーバランス

FAD：前後のスピーカーバランス

- 2 ボリュームボタンの+または-を押して、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

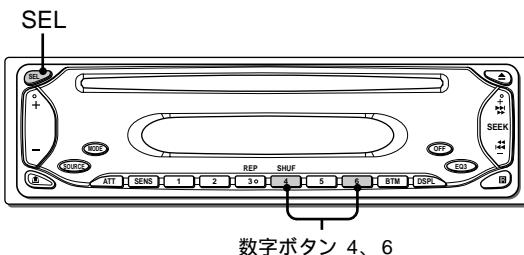
音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT」が点灯し、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

音や表示などの設定を換える



*¹ ソースの再生 / 受信の停止中のみ、表示します。

*² 内蔵パワーアンプが使用されている場合のみ、ビープ音がなります。

設定の種類 設定内容

「DEMO」*¹ 再生 / 受信の停止中にデモを表示する。

「BEEP」*² 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

設定を換える

SELボタンと希望する数字ボタンを同時に押す。

「DEMO」*¹ : SELボタン + 数字ボタン4

「BEEP」*² : SELボタン + 数字ボタン6

設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

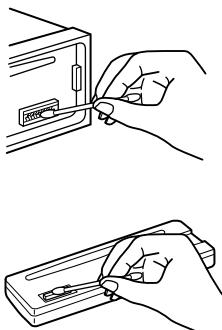
モード設定を解除するには

SELボタンと希望する数字ボタンを同時に押します。

使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて
フロントパネルおよび本機のコネクターが汚
れていると動作不良の原因になります。とき
どきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注
意してください。

液晶表示について

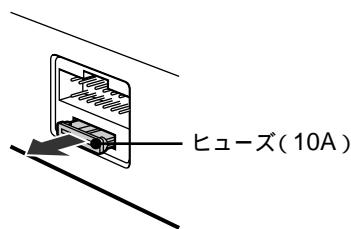
極端な高温または低温のところでは、表示が
見づらくなることがあります、故障ではあり
ません。周囲の温度が常温に戻ると、通常
表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかった
り、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品
が長時間接触しないようにしてください。本
体表面が変質、変形したり、塗装がはげたり
することがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに
記してある規定容量(アンペア数)のヒュー
ーズをお使いください。規定容量を超える
ヒューズや針金で代用すると故障の原因とな
ります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD
プレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)
が生じることがあります。このような現象を
結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取
りができず、CDプレーヤーが動作しないこ
とがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り
出して放置しておけば、約1時間ほどで結露
が取り除かれ、正常に動作するようになります。
もし、何時間経過しても正常に動作しない
場合はアフターサービスにお申しつけくだ
さい。

表示窓の結露について

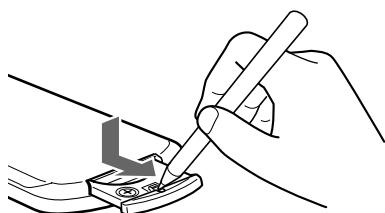
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場
合などに、表示窓の内部に露が生じてくもる
ことがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくと
結露が取り除かれ正常に戻ります。

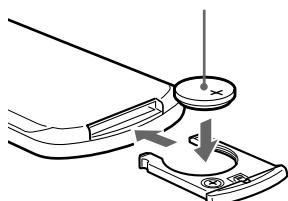
電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の \oplus と \ominus を正しく入れてください。



\oplus を上向きにする



電池の交換時期

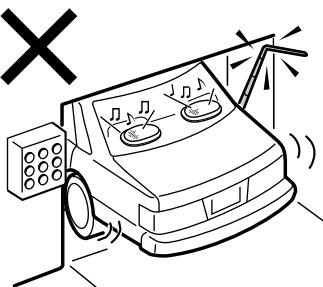
電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止めるラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">「ピッ」という音が出ない設定になっている。 →BEEPの設定(27ページ)を「ON」にしてください。内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
共通	<p>なにも表示されない。</p> <ul style="list-style-type: none">OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 →もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 →コネクター部をクリーニングする。(28ページ)
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。
ノイズが出る。	アンテナコード、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを押し続けてください。

症状	原因・処置
共 通	<p>オートアンテナが上がらない。</p> <p>ボタンを押しても動作しない。</p>
	<p>リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。</p> <p>リセットボタンを押してください。</p>
CD	<p>ディスクが入らない。</p> <p>ディスクを入れてもすぐ出てくる。</p> <p>音がとぶ。</p> <p>音が途切れる。</p> <p>音が割れる。</p> <p>CD-RまたはCD-RWが再生できない。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> すでに別のディスクが入っている。 ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル(レーベル)面を上にして入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が45°を越えている。 本機が正しく固定されていない。 <ul style="list-style-type: none"> 再生しようとしているCD-RまたはCD-RWがオーディオ用フォーマットになっていない。 CD-R/RWの記録状態などが良くない。
	<p>ディスクが自動的にイジェクトされる。</p> <p>受信できない、 雑音しか出ない。</p>
ラジオ	<p>本機の内部温度が50°C以上になった。</p> <p>→ 常温に戻ってから再生してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源コード(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ。)くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーラジオとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。

[次のページへつづく](#)

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ	SEEKボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none">ローカル受信を設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →ローカル受信を解除してください(22ページ)。電波が弱くて自動選局できない。 →SEEKボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。 「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none">周波数を確認してください。電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください(22ページ)。
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	左右のスピーカー出力のバランス(BAL)、フロントとリアの出力レベル(FAD)の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなっ。 →BAL、FADを調節してください(26ページ)。

CDのエラー表示

本機が誤動作すると、エラー表示が5秒間点滅します(エラー表示が「Err04」の場合、アラーム音が鳴ります)。

	エラー表示	原因	処置
Err04		ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
		CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
		ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
Err50		スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
		内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。
Err60			ディスプレイのエラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口に相談する。
	Err99	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	120dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	67dB(ステレオ) 69dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	52W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用)
トーンコントロール	低音: ±10dB(60Hz) (XPLOD) 中音: ±10dB(1kHz) (XPLOD) 高音: ±10dB(10kHz) (XPLOD)
本体寸法	約178×50×176mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×50×161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) ケース(1) カードリモコン RM-X114
別売品	パワーアンプ XM-460GTXなど RCAピンコード RC-64(2m) RC-65(5m)
電源コード	RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行	
イコライザー	24~25
エラー表示	33
音量	12~13
カ行	
カードリモコン	16
サ行	
シャッフル	20
ステレオ放送	22
スピーカーバランス	26
タ行	
デモ	27
登録	
自動登録	21
放送局	21、23
時計	17

八行

バランス	26
ヒューズ	28
フェーダー	26
フロントパネル	11
ベストチューニングメモリー	
(BTM)	21
ボタンの音	27

マ行

モノラル	22
------	----

ラ

ラジオ	13、21~23
自動選局	21
登録	21、23
リセット	10
リピート	19
ローカル受信	22

アルファベット順

ATT	26
BAL (Balance)	26
BEEP	27
BTM	21
CD	12、18~20
DEMO	27
EQ3	24
FAD (Fader)	26
LCL (LOCAL)	22
MONO	22
REP	19
SHUF	20

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は* 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。

はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- ・主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- ・主なキャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- ・包装用緩衝材に紙材料を使用しています。

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in China